

西来寺報

二〇一五年 春
第十七号

あすありと思う心のあだ桜

また今年も桜の開花する時期がやってきました。桜のころとなると

学校の卒業、入学、或いは社会人として新たにスタートする人も多いことでしょう。またきれいな花に心ウキウキとお花見を楽しむ人もいらっしやると思います。

親鸞聖人が九歳で慈円僧正の元で得度を受けたときに「今日はもう遅いので得度式は明日にしましょう」と、言われたときに次のような歌を詠んだと云われています。

あすありと思う心のあだ桜

夜半にあらしの吹かぬものかは

「明日まで桜の花が咲いているとは限りません。夜中に強風が吹いて散ってしまうかもしれません」と、うたいました。

このようにしてひと夜にして心変



3月12日撮影 山門の河津桜

わりがないうちに得度させて頂きたいと慈円僧正にお願いした所、その気持ちをくんでその日のうちにおかみそりをしたそうです。

桜の花は美しいのですが、ご存じのとおり開花時期は短くすぐに散ってしまいます。この潔さが日本人の心に合っているのでしょうか、仏教で云う諸行無常をありありと教えてもらっているようです。

横浜別院に懇志のお願い

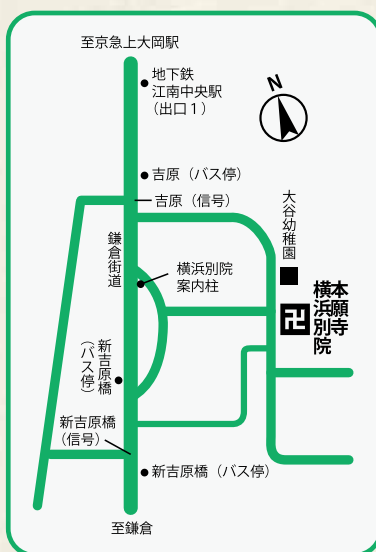
もう既に皆様の所に横浜別院、ご門徒懇志金のお願いが届いていると思いますが、ご協力の程を改めてお願いします。

横浜別院は明治五年浅草別院横浜出張所として横浜市南区太田町に建立されました。昭和四十六年横浜市都市総合開発計画の協力要請を受け現在の港南区日野に移転しました。

今回、親鸞聖人七百五十回御遠忌の記念事業として別院内に「神奈川教化センター」を建設しました。

つきましては寺院のみならず宗教区域の神奈川県内の四組（川崎、横浜、三浦、湘南）のご門徒の方々に五千円程の懇志を頂くことになりました。趣旨をく

んで頂き是非ご協力下さいませ
様、勝手なお願い
いですがよろしく
お願いしま
す。



■本願寺横浜別院アクセス

- 〈地下鉄〉 港南中央駅出口①より鎌倉方面へ徒歩10分
- 〈バス〉 京浜急行上大岡バスターミナル④⑤⑥乗場より吉原下車徒歩3分
- 〈タクシー〉 京浜急行上大岡駅より鎌倉方面8分
- 自動車でのご参詣はご遠慮ください。

尚、振込用紙の欄の三浦に○をして、西来寺とお書き頂き住所、氏名を忘れずに記入して下さい。



横浜別院宗祖親鸞聖人
七百五十回御遠忌の御案内

四月二十五日（土）

午後一時 連夜法要

午後二時 法話

午後六時 タベのつどい

四月二十六日（日）

午前十時 法話

午前十一時三十分 庭儀（稚児行列）

午後一時 日中法要（御親修）御門首

がこられます。西来寺住職は連夜法要

と日中法要出仕の予定。

知 っていますか？

お墓参りの作法



お正月、ご命日、お彼岸、お盆：年に何回かお墓にお参りする機会があります。そこで知っていそうで知らないのがお墓参りの仕方です。お墓にお参りするとき、最初にするべき事とは何でしょうか？ それは実は**ご本尊にお参りすること**です。

まず本堂に入ってご本尊に合掌しましょう。もし、中には入れないときは、外からご本尊に向かって合掌して下さい。それからお墓に向かいます。お線香に、お花とお水。全部持つて歩くのは大変ですが休み休み行きましょう。お墓に着いたらお墓を洗い、花立てをきれいにし、花を生けます。お供物等がある場合はここでお供えしますが、食べ物の場合には持ち帰るのを忘れなく。すぐカラスがやってきてしまいますので。そしてお線香を点け合掌します。

お墓参りの時間帯は、やはり日が出ている間が良いでしょう。暗くなつてからしかお参りできない場合は、ライトをお貸ししますので十分に足元にお気を付けください。

お墓参りにかける時間は、10分ぐらいで済ませる方もいれば、お弁当を持つてきて2時間ぐらいかける方もいます。そうそう、一升瓶のお酒を持つてきて、弟さんと杯を傾け飲みきった豪快なご兄弟もいます。きつと亡くなった方と一緒に召し上がっているんだらうなと、胸に熱いものがこみ上げてきます。

以上がお墓参りの作法ですが、お参りをする方々を見て気づいたことがあります。慌てていたり、不機嫌そうな人も、帰りはほつと安心したような穏やかな表情になっていることが多いのです。

私はお墓はその家の過去と現在をつなぐアンテナのようなものではないかと考えています。日常の生活に追われて自分のアンテナが濁ってしまったのを、亡くなった方々が修正してくれるのかもしれない。

青く広がる大空を仰ぎ、鳥の囀きを耳に、風を感じ、亡くなった方々を思い出す。お墓にお参りすることで自分がリセットされる。お墓参りは、とても大切な失ってはならない時間なのかもしれません。

平成27年（2015年）年回表

一	周忌	平成二十六年	(二〇一四)
三	回忌	平成二十五年	(二〇一三)
七	回忌	平成二十一年	(二〇〇九)
十三	回忌	平成十五年	(二〇〇三)
十七	回忌	平成十一年	(一九九九)
二十三	回忌	平成五年	(一九九三)
二十五	回忌	平成三年	(一九九一)
二十七	回忌	平成元年 昭和六十四年	(一九八九)
三十三	回忌	昭和五十八年	(一九八三)
三十七	回忌	昭和五十四年	(一九七九)
五十	回忌	昭和四十一年	(一九六六)
七十	回忌	昭和二十一年	(一九四六)
百	回忌	大正五年	(一九一六)